

集落協定の自己評価票

(中間年(R4年6月現在)の実施状況 最終年(R6年度末)の実施見込み)

参考2

都道府県名		
市町村名		(協定識別コード)
協定名		

(注)

- ・この調査票は、集落の代表者等に記入をお願いするものです。
- ・「該当の有無」欄には、あらかじめ市町村の担当者が集落協定の内容からご記入願います。

I 自己評価

1. 集落マスタープランに係る活動【全ての協定】

取組内容	該当の有無	中間年(R4年6月現在)の実施状況 (実施している活動に「○」)	最終年(R6年度末)の実施見込み (実施見込みの活動に「○」)
① 機械・農作業の共同化等営農組織の育成			
② 高付加価値型農業			
③ 農業生産条件の強化			
④ 担い手への農地集積			
⑤ 担い手への農作業の委託			
⑥ 新規就農者等による農業生産			
⑦ 地場産農産物等の加工・販売			
⑧ 消費・出資の呼び込み			
⑨ 共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備			
⑩ その他			

2. 農業生産活動等として取り組むべき事項

(1) 耕作放棄の防止等の活動【全ての協定】

取組内容	該当の有無	中間年(R4年6月現在)の実施状況 (実施している活動に「○」)	最終年(R6年度末)の実施見込み (実施見込みの活動に「○」)
① 利用権の設定等・農作業の委託			
② 既荒廃農地の復旧、畜産的利用、林地化			
③ 既荒廃農地の保全管理			
④ 農地の法面管理			
⑤ 鳥獣害対策			
⑥ 限界的農地の林地化等			
⑦ 簡易な基盤整備			
⑧ 担い手の確保			
⑨ 地場農産物の加工・販売			
⑩ その他(土地改良事業、災害復旧、地目変換等)			

(2)水路・農道等の管理【全ての協定】

取組内容	該当の有無	中間年(R4年6月現在)の実施状況 (実施している活動に「○」)	最終年(R6年度末)の実施見込み (実施見込みの活動に「○」)
① 水路の管理			
② 農道の管理			
③ その他の施設の管理			

(3)多面的機能を増進する活動【全ての協定】

取組内容	該当の有無	中間年(R4年6月現在)の実施状況 (実施している活動に「○」)	最終年(R6年度末)の実施見込み (実施見込みの活動に「○」)
① 周辺林地の下草刈等			
② 棚田オーナー制度、市民農園等の開設・運営			
③ 景観作物の作付け			
④ 土壌流亡に配慮した営農			
⑤ 体験民宿(グリーン・ツーリズム)			
⑥ 魚類・昆虫類の保護(ビオトープの確保)			
⑦ 冬期の湛水化、鳥類の餌場の確保			
⑧ 粗放的畜産			
⑨ 堆きゅう肥の施肥、拮抗作物の利用、合鴨・鯉の利用、輪作の徹底、緑肥作物の作付等			
⑩ その他活動			

(4)安全に配慮した共同取組活動【全ての協定】

共同取組活動に当たって、実施している安全配慮事項・取組	実施している項目に「○」
① 安全に作業するための研修・講習会への出席	
② 作業前の危険な箇所の確認	
③ 作業前の農機具等の点検	
④ 農機具等の定期点検	
⑤ 作業時のヘルメット、フェイスガード、シートベルトの着用	
⑥ 熱中症等の予防	
⑦ 安全に配慮した農機具等の使用(例:ラジコン草刈り機)	
⑧ その他	

3. 集落協定の話し合いの回数と集落戦略の作成状況

(1) 集落協定の話し合いの回数【全ての協定】

集落協定の話し合いの状況	R2年度	
	うち集落戦略 (体制整備単価のみ)	
	R3年度	
	うち集落戦略 (体制整備単価のみ)	

回数を記入
 (※ 役員のみによる話し合いや共同活動後の打合せ等についても1回分として計上)

(2) 集落戦略作成の話し合いの参加者【体制整備単価協定】

話し合いの参加者	該当する項目に「○」
① 協定参加者	
② 協定参加者以外の集落の住民	
③ 農業委員等、市町村や農業委員会及びJA等の関係組織の担当者	
④ NPO法人、企業、学識経験者、専門知識等を有する者	
⑤ 協定役員のみ	
⑥ 話し合いをしていない	

(3) 集落戦略の作成状況・作成見込み【体制整備単価協定】

集落戦略の項目ごとの作成状況・作成見込み	該当するものを記入	記入方法
ア 協定農用地の将来像		以下から該当するものを記載 ◎：最終年までに作成が確実に見込まれる(作成済み) ○：最終年までに作成が見込まれる △：最終年までの作成に不安がある ×：最終年までの作成見込みが立っていない
イ 集落の現状		
ウ 集落の現状を踏まえた対策の方向性		
エ 具体的な対策に向けた検討	集落戦略の「ウ 集落の現状を踏まえた対策の方向性」で「対策は不要」としている場合は、エとオは「-」を入力	
オ 今後の対策の具体的な内容及びスケジュール		
カ 農業生産活動等の継続のための支援体制		
アからカを踏まえた集落戦略全体の作成状況・作成見込み(全体評価)		次による評価内容を記載 ◎：アからカがすべて「◎」(エ及びオが「-」の場合を含む。) ○：アからカまでに「△」も「×」もない △：アからカまでに「×」はないが、「△」がある ×：アからカまでに「×」がある

(4) 集落戦略の話し合いに用いる地図の作成状況【体制整備単価協定】

集落戦略の話し合いに用いる地図の作成状況	以下のいずれかに「○」
① すべての協定参加農業者の年齢階層別就農状況や後継者確保の状況のほか、必要な情報のすべてを地図に記入済み	
② すべての協定参加農業者の年齢階層別就農状況や後継者確保の状況の一部を地図に記入済み	
③ すべての協定参加農業者の年齢階層別就農状況や後継者確保の状況に係る情報は既にあり、これから必要な情報を地図に記入する予定	
④ 作成の見込みが立っていない	

4. 加算措置の目標の達成状況・達成見込み

(1) 棚田地域振興活動加算【加算に取り組んでいる協定】

目標	該当の有無	目標達成見込み	記入方法
ア 棚田等の保全			以下から該当するものを記載 ◎：最終年までに目標達成が確実に見込まれる(目標達成済み) ○：最終年までに達成が見込まれる △：最終年までの達成に不安がある ×：目標達成は困難(目標未達成を含む)
イ 多面的機能の維持・発揮			
ウ 棚田地域の振興			

(2) 超急傾斜農地保全管理加算【加算に取り組んでいる協定】

目標	該当の有無	目標達成見込み	記入方法
ア 農地の保全			以下から該当するものを記載 ◎：最終年までに目標達成が確実に見込まれる(目標達成済み) ○：最終年までに達成が見込まれる △：最終年までの達成に不安がある ×：目標達成は困難(目標未達成を含む)
イ 農産物の販売			

(3) 集落協定広域化加算【加算に取り組んでいる協定】

目標	該当の有無	目標達成見込み	記入方法
ア 人材の確保のみの活動(単年度限り) (目標年度がR2年度とR3年度の協定)			以下から該当するものを記載 ◎：目標達成済み ×：目標未達成
イ 人材の確保のみの活動(単年度限り) (目標年度がR4年度～R6年度の協定)			以下から該当するものを記載 ◎：最終年までに目標達成が確実に見込まれる(目標達成済み) ○：最終年までに達成が見込まれる △：最終年までの達成に不安がある ×：目標達成は困難(目標未達成を含む)
ウ 人材の確保・農業生産活動の継続の活動 (複数年度)			

(4) 集落機能強化加算【加算に取り組んでいる協定】

目標	該当の有無	目標達成見込み	記入方法
人材確保又は集落機能を強化する取組			以下から該当するものを記載 ◎：最終年までに目標達成が確実に見込まれる(目標達成済み) ○：最終年までに達成が見込まれる △：最終年までの達成に不安がある ×：目標達成は困難(目標未達成を含む)

(5) 生産性向上加算【加算に取り組んでいる協定】

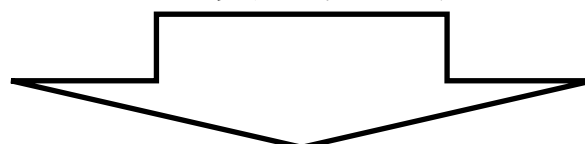
目標	該当の有無	目標達成見込み	記入方法
農業生産性の向上を図る取組			以下から該当するものを記載 ◎：最終年までに目標達成が確実に見込まれる(目標達成済み) ○：最終年までに達成が見込まれる △：最終年までの達成に不安がある ×：目標達成は困難(目標未達成を含む)

5. 活動に当たり、今後、特に市町村に要望する支援【全ての協定】

市町村に要望する支援	該当する項目に「○」
① 協定書作成に係る支援	
② 集落戦略作成に係る支援	
③ 目標達成に向けた支援	
④ 協定の統合・広域化への支援	
⑤ 事務負担軽減に向けた支援	
⑥ 上記以外の支援 (具体的に記載)	
⑦ 特に支援を要望しない	

6. 中山間地域等直接支払制度に対する意見・要望【任意】

次頁もあります



Ⅱ 次期対策(令和7年度～)の意向

1. 継続の意向【全ての協定】

次期対策(令和7年度～)での活動継続の意向	以下のいずれかに「○」
① 活動を継続する	
② 廃止する予定	

2. 広域化の意向【1で「①活動を継続する」を選択した協定】

集落協定を広域化する意向	以下のいずれかに「○」
① 広域化の意向がある	
② 広域化の意向はない	

3. 協定廃止の理由【1で「②廃止する予定」と回答した協定】(複数回答可)

協定廃止の理由	該当する項目に「○」
① 活動の中心となるリーダーの高齢化のため	
② 協定参加者の高齢化による体力や活動意欲低下のため	
③ 地域農業の担い手がいないため	
④ 農業収入が見込めないため	
⑤ 鳥獣被害の増加	
⑥ 農道や水路、畦畔の管理が困難なため	
⑦ 圃場条件が悪いため	
⑧ 事務手続きが負担なため	
⑨ 交付金の遡及返還への不安なため	
⑩ 統合の相手先となる協定が近隣にないため	
⑪ 協定内の意見がまとまらず、合意形成が困難なため	
⑫ 交付金がなくても農用地の維持・管理が可能のため	
⑬ その他	

4. 協定の役員【全ての協定】

(1) 集落協定の代表者

① 年齢		歳
② 代表者になってからの年数		年
③ 次期対策において代表者を継続する目途がある場合は、「○」を、ない場合は「×」を記載【1で「②廃止する予定」を選択した協定は回答不要】		

(2) 事務担当者(会計)

① 年齢		歳
② 担当者になってからの年数		年
③ 次期対策において事務担当者を継続する目途がある場合は、「○」を、ない場合は「×」を記載【1で「②廃止する予定」を選択した協定は回答不要】		
④ 事務委託等の有無		
記載方法		
事務委託等をしていない場合はアを、事務委託等をしている場合はイからケまでのうち該当する委託先を記載		
ア なし		
イ 行政書士・公認会計士、ウ 事務組合、エ NPO、オ 集落法人、カ JA、キ 土地改良区、ク 個人、ケ その他		
現在の状況(委託・協力依頼先)		その他の場合の委託先:
今後の意向(委託・協力依頼先)		その他の場合の委託先: